



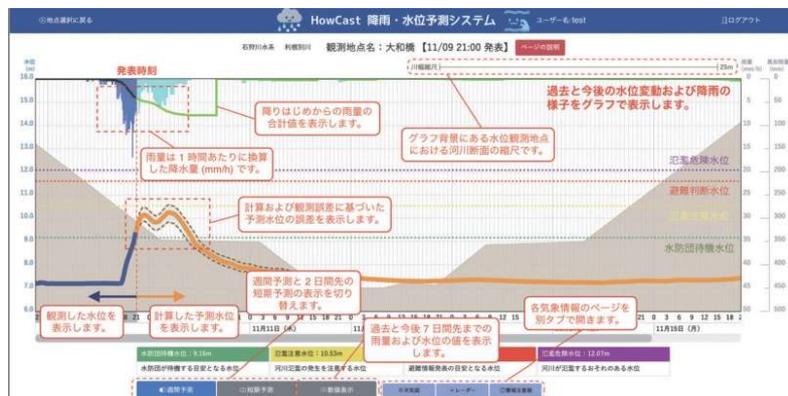
北海道で働く醍醐味が感じられる職場です

大雨洪水時の避難判断では、現地の雨量や河川水位データが重要です。また水利用や水処理計画には河川流量データが必要です。このための観測・調査を、気象情報を活かして行います。何といたっても現地で取った生情報が確実です。広い北海道の観測地点を回るので、自然を満喫する仕事です。

本社は札幌市で、街に住み便利な生活、北海道の中でも気候が穏やかで生活し易いです。

フィールドだけでなくオンライン監視も活用します

オンラインシステムでは、気象・水象データやカメラ画像のリアルタイム画像が確認できます。行政が提供する情報から国土交通省川の防災情報、気象庁の防災情報、国土交通省の川の水位情報危機管理型水位計を利用。独自システムではHowMoni実況監視システム、HowCast降雨・水位予測システムを運用しています。気象庁・国土交通省データベースを駆使して解析・予測技術の開発も手掛けています。



選抜チームで特別な観測も、成長を感じられるシーンです

雪上車やスノーモービル、山スキーを活用して過酷な現場でも調査に入ります。普段なかなか立ち入れない場所に行き未知の経験も有ることでしょう。自己の挑戦に対する期待感も高く仕事としての責任感も高まります。勿論作業は安全第一、事前調査・計画・予備踏査を経て本番に臨みます。